



子牛生産費統計調査票

「農業簿記 11 (ソリマチ)」を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部
経営・構造統計課

農林水産省

目次

はじめに

「農業簿記」での初期設定・・・・・・・・・・・・・・ 1

部門や補助科目の設定、補助科目一覧表・・・・・・・・ 2、3

調査票の記入

1：経営の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4、5

2：調査対象畜の取引状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～7

3：調査対象畜の生産に使用した資材等・・・・・・・・ 8～19

4：物件税及び公課諸負担・・・・・・・・・・・・・・ 20、21

5：消費税・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

6：借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子・・・・ 22、23

7：出荷に要した経費・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24、25

8：建物及び構築物（土地改良施設を含む。）

の所有状況・・・・・・・・・・・・・・ 26、27

9：自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況・・・・ 28、29

10：農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況・・・・ 30、31

11：農具の購入費等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32、33

12：作業別労働時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34、35

13：地代（所有地及び借入地）・・・・・・・・・・・・・・ 36、37

<記入上の注意事項>

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りが無いか、最後にもう一度ご確認ください。
4. 「農業簿記」で、把握できない項目については、「記入の仕方」を参考にして、調査票に直接ご記入ください。
5. また、記入内容について、職員や専門調査員から照会等させていただく場合がございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。

※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

はじめに

「農業簿記11」での初期設定

農業簿記のデータを用いて、子牛生産費の調査票を記入する場合、「繁殖牛部門」を設定し、記帳しておく必要があります。
なお、当該子牛のみ生産している場合は部門の設定は必要ありません。
(取引事項が発生した時点で、設定することも可能です。)

部門の設定は、一番最初の起動時に、案内に沿って進めていくことで設定されますが、繁殖牛部門は後から設定することもできます。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 部門設定を選択・・・部門階層は2もしくは3階層にします。
(詳細は、農業簿記「導入マニュアル」を参照してください。)

また、子牛生産費用の調査項目を設定する場合は、補助科目機能を利用し、勘定科目の内訳を作成します。

例えば、飼料費の内訳として、**大麦**、**とうもろこし**、**配合飼料**等を設定する必要があります。
(3頁に一覧表があります。)

以下の手順にて、子牛生産費用の調査項目を設定してください。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 勘定科目設定を選択
- 5 補助科目設定のボタンが表示されるので、クリックして、
分類(売上、経費、負債等)別に、設定します。

農業簿記 11 (ソリマチ) の参照の仕方

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表 ⇒ 集計範囲：決算 ⇒ 部門：繁殖牛部門 ⇒ 表示タイプ「補助表示」に
チェックを入れて、損益計算書を選択し印刷します。



ここでは、印刷した試算表の「残高」を見て、調査票に記入していくことを前提とします。
また、わかりやすいよう補助科目は赤字にしています。
(以下、同様です。なお、実際に印刷されたものは黒字です。)

繁殖牛部門の設定

複数の品目を生産・販売している場合は、「繁殖牛部門」を事前に設定します。以下の図はソリマチ「農業簿記11」の起動画面「ダイレクトメニュー」です。ここから、横【初期】⇒縦【基本】⇒メニュー【部門設定】と進みます。



補助科目の設定

ダイレクトメニューで【初期】⇒【基本】⇒【勘定科目設定】と進みます。補助科目を追加したい勘定科目を選択し、上部タブメニューの【補助】を選択

補助

区分	コード	正式名称	農業用申告科目	不動産用申告科目
【生産原価】	9170	【生産原価】		
//	800	期首農産物以外棚卸高	農産物以外棚卸高	<未対応>
//	810	種 苗 費	苗 費	<未対応>
//	812	素 畜 費	畜 費	<未対応>
//	814	肥 料 費	料 費	<未対応>

「補助科目設定」画面から【新規】⇒入力フォームが表示されるので【正式補助名称】の記入と【税率】の設定をおこない【設定】ボタンを押すと登録されます。

コード	正式補助名称	率	期首残高
<新規作成>			

新規

子牛生産費における補助科目（設定例）

損益計算書（勘定科目）⇒《経常損益の部》

【売上高】売上高

牛 馬
きゅう肥（販売用）

【生産原価】

穀 類
大麦
その他の麦
とうもろこし
飼料用米
その他の穀類
ぬか・ふすま類
ふすま
その他のぬか・ふすま類
植物性かす類
大豆油かす
ピートバルブ
その他の植物性かす類

配合飼料
T M R
牛乳脱脂乳
いも類及び野菜類
わら類
稲わら
その他のわら類

生 牧 草
乾 牧 草
ヘイキューブ
その他の乾牧草
サイレージ
いね科
稲発酵粗飼料
その他のサイレージ
上記以外の購入飼料

稲 わ ら
お が く ず
麦 わ ら
乾 牧 草
そ の 他

建物敷地
運 動 場
牧草栽培
放 牧 地

重 油
軽 油
灯 油
ガソリン
水 道 料
電 力 料
そ の 他

獣医師料
医薬品費
その他医療費等

建物修繕費
農具修繕費
車修繕費
建物解体費

共同負担金
農機具借料
その他
草 地 費
草地開発事業の負担金（草地造成事業）
草地開発事業の負担金（草地整備事業）
土地改良事業の負担金

消 石 灰
デントコーンの種子
ラッピングフィルム
防虫ネット

雇 人 費	男 雇 用
	女 雇 用

【販売費一般管理費】

物件税
固定資産税・建物
固定資産税・農機具
都市計画税（土地以外）
不動産取得税（土地以外）
自動車取得税
共同施設税
軽・自動車税
自動車重量税
公課負担金
自賠責保険
集落協議会費
農業協同組合費
肉用牛組合費
農事実行組合費
家畜共済組合賦課金

共 済 掛 金
疾病共済掛金

損害保険料
自動車保険料
建物保険料
農業機械保険料

【営業外損益の部】

買 掛 金
短期借入金

長 期 借 入 金
△△資金（畜舍用）
××資金（ローダー用）
○○資金（トラクター）

※ 上記以外でも普段使用しているものがあれば、随時追加しておいてください。

【1】経営の概況

- 1 経営耕地
- 2 世帯員数と農業就業者数等
- 3 認定農業者の状況

調査票 P3

「経営の概況」1～3項

左記3項目に関しては、「農業簿記11」では対応しておりません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【2】調査対象畜の取引状況

1 農家団体コード（牛トレサ関係）

農家団体コード1	農家団体コード2	農家団体コード3
0 9 9 9 1 2 3 4 5 6	0 9 9 9 1 2 7 8 9 0	

調査票 P4

「調査対象畜の取引」農家団体コード

「農業簿記11」では、対応しておりません。以下、全項目で同様です。

「調査対象畜の個体識別番号」

「農業簿記11」では、対応しておりません。以下、全項目で同様です。

調査対象畜の転入・転出状況

牛トレサデータに基づき、年内に異動（転入・転出）のあった牛について、「個体識別番号」、「異動月」、「転入・転出（○）」を印字してありますので、当該牛の取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
なお、売却時の生体重が不明の場合は、記入方法を担当にご相談ください。

2 調査対象畜の転入・転出状況

個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	名 称 (記入は任意)	異動 月	異動の 内 容 (該当に○)	取引金額 (円) (購入額、売却額)	子牛のみ 記 入	
					売却時 生体重	
			転入			
(転入の例)			転入			
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		1	○	3 5 0 0 0 0		
			転入			
(子牛の転出の例)			転入			
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		5	○	7 8 5 0 0 0	2 8 5	
			転入			
(子牛以外の転出の例)			転入			
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		1 0	○	4 1 0 0 0 0		
			転入			
			転入			
			転入			

(購入の場合)
当該牛の購入額を「取引金額」欄に記入してください。

(売却の場合)
当該牛の売却額を「取引金額」欄に、売却時の生体重を「売却時生体重」欄に記入してください。

【2】 調査対象畜の取引状況（続き）

調査票 P5

3 初回種付けした繁殖雄牛

個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	初回種付け月	個体識別番号 (10ケタの耳標番号)	初回種付け月
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	5		
9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	1 2		

繁殖雄牛の個体識別番号

「農業簿記11」では対応しておりません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

きゅう肥の総搬出量割合

「農業簿記11」では対応しておりません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

4 きゅう肥の利用状況

総搬出量 の割合 (%)	販売用	自家利用	廃棄
1 0 0	2 0	6 0	2 0

きゅう肥の利用状況（販売）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を印刷します。
この事例では、売上高の補助科目として「きゅう肥」を設定しました。

販売金額（円）

万 千 百 十
2 5 0 0 0

損益計算書

繁殖牛部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【売上高】					
きゅう肥（販売用）				25,000	

物々交換した場合

品目名 (具体的に記入)	数量				単位
	万	千	百	十	
稲わら		1	0	0	束
麦わら		1	0	0	kg
玄米			6	0	kg
ジュース		1	0	0	円

物々交換

「農業簿記11」では対応しておりません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等

調査票 P5

1 購入飼料

区 分		数 量		金額 (円)	調査対象畜 負担割合
			単位		
穀 類	大 麦	1 2 0	kg	6 4 8 0	1 0 0
	そ の 他 の 麦				
	と う も ろ こ し	7 6 0	kg	3 4 5 6 0	8 0
	大 豆				
	飼 料 用 米				
	そ の 他 の 穀 類				
ぬ か ・ ふ す ま 類	ふ す ま	1 0 0	20kg 袋	8 6 4 0 0	8 0
	米 ・ 麦 ぬ か				
	そ の 他 の ぬ か ・ ふ す ま 類				
植 物 性 か す 類	大 豆 油 か す				
	ビ ー ト パ ル プ	2 0	20kg 袋	8 6 4 0 0	1 0 0
	そ の 他 の 植 物 性 か す 類				
配 合 飼 料	3 8	t	2 6 6 7 6 0 0	8 0	
T M R <small>(粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料)</small>					
牛 乳 脱 脂 乳	1 6	20kg 袋	1 2 1 6 0 0	1 0 0	
い も 類 及 び 野 菜 類					
わ ら 類	稲 わ ら				
	そ の 他 の わ ら 類 (麦わら等)				
生 牧 草					
乾 牧 草	ヘ イ キ ュ ー ブ	2 0	20kg 袋	3 1 2 0 0	1 0 0
	そ の 他 の 乾 牧 草	5	t	5 4 0 0 0 0	8 0
サイ レ ー ジ	い ね 科 <small>(稲発酵粗飼料を除く。)</small>	6	t	9 7 2 0 0	8 0
	稲 発 酵 粗 飼 料				
	そ の 他 の サイ レ ー ジ				
上 記 以 外 の 購 入 飼 料				8 0 0 0 0	1 0 0

飼料の数量及び負担割合

「農業簿記11」では対応しておりません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

購入飼料

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を印刷します。
この事例では、【生産原価】飼料費の補助科目として「大麦」「とうもろこし」等
を設定しました。

損益計算書

繁殖牛部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
飼 料 費				3,809,760	
大麦				6,480	
とうもろこし				34,560	
ふすま				86,400	
ビートパルプ				86,400	
配合飼料				2,667,600	
牛乳脱脂乳				121,600	
ヘイキューブ				31,200	
その他の乾牧草				540,000	
いね科 (サイレージ)				97,200	
その他の購入飼料				80,000	

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 (続き)

2 自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

区 分	自給飼料の例示	生 牧 草 (生の状態で給与するもの)			乾 牧 草 (乾燥させて給与するもの)			サイレージ (発酵させて給与するもの)			左記の牧草の生産状況		
		数 量	単 位	調査対象畜 負担割合	数 量	単 位	調査対象畜 負担割合	数 量	単 位	調査対象畜 負担割合	作 付 面 積	収 穫 量	単 位
		万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	万 千 百 十		%	ha	万 千 百 十	
い ね 科	デントコーン							3 5	t	1 0 0	2 6 0	1 3 0	t
	イタリアン ライグラス	2 5 0 0	kg	8 0	5 0 0	kg	8 0	3 8	200 kg	8 0	1 4 0	5 0	t
	ソルゴー												
	稲発酵粗飼料	WCS : ホールクロップサイレージ						3 6 0 0	kg	8 0	3 0	5 5 0 0	kg
	そ の 他	オーチャードグラス、チモシー、 ライ麦、えん麦等のいね科の牧草											
ま ぜ ま き	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科 牧草がメインのまぜまき牧草			1 0	t	6 0	3 0	t	6 0	3 0 0	1 5 0	t
	そ の 他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、 又はいね科とまめ科の折半の牧草											
そ の 他 の 牧 草	アルファルファ、クローバー等のまめ科の 牧草、飼料かぶ、家畜ビート等												
穀 類	とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の 穀類												
い も 類 及 び 野 菜	かんしょ、いもづる等												
野 生 草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生 のまま給与するもの												
野 乾 草	採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾 燥させて給与するもの												
放 牧 時 間 (放 牧 場)	放牧場における放牧時間			2 8 0 0	時間	1 0 0					1 5 0		

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

作 物 名 (具体的に記入)	数 量		調査対象畜 負担割合
	万 千 百 十	単 位	
大麦	1 0 0 0	kg	1 0 0
稲わら	2 0 0	kg	5 0

飼料の数量、単位及び負担割合

本ページ(自給飼料)に関する数値(数量、時間、作付面積、収穫量、放牧時間等)は「農業簿記11」では対応しておりません。子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 (続き)

調査票 P7

3 種付料

種付料金 (円)

延べ種付回数 (回)

4 敷料費

(1) 購入

区分	金額 (円)	調査対象畜負担割合
計	139700	80
稲わら		
おがくず		
麦わら		
乾牧草		
その他		

物々交換した場合		
品目名 (具体的に記入)	数量	単位
きゅう肥	3	t
ジュース	1000	円

(2) 自給

資材名 (具体的に記入)	使用数量	単位	調査対象畜負担割合
乾牧草	1000	kg	80%
稲わら	1200	kg	80%

種付料、及び敷料費 (購入)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、種付料の補助科目として「種付料」を設定しました。
また、敷料費の補助科目として「稲わら」「おがくず」等を設定しました。

※ 種付料について

調査対象畜の生産に使用した「精液代」のほか、授精師に支払った料金を含めて記入してください。

損益計算書

繁殖牛部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
[生産原価]					
敷料費				139,700	
稲わら					
おがくず					
麦わら					
乾牧草					
その他					
<hr/>					
種付料					
種付料				486,000	

敷料 (物々交換、自給)

「農業簿記11」では対応しておりません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 (続き)

調査票 P7

5 光熱動力費

(1) 購入

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調 査 対 象 畜	自給牧草
計	万 千 百 十		
重 油			
軽 油	1 3 1 0 0 0	4 0	3 0
灯 油	3 0 0 0	8 0	
ガソリン	4 4 0 0 0	4 0	3 0
水 道 料	2 7 0 0 0	8 0	
電 力 料	1 4 7 0 0 0	8 0	
そ の 他	5 0 0 0	2 0	

(2) 自給

資材名 (具体的に記入)	使用数量	単 位	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 畜	自給牧草
薪	1 0	kg	1 0 0	

光熱動力費 (購入)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を参照します。
なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、共通部門として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書 繁殖牛部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
動力光熱費				1,008,259	
重油					
軽油				131,000	
灯油				3,000	
ガソリン				44,000	
水道料				27,000	
電力料				147,000	
その他				5,000	

光熱動力費 (自給)

「農業簿記11」では対応しておりません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】 調査対象畜の生産に使用した資材等 (続き)

調査票 P8

6 獣医師料及び医薬品費

区 分	金 額 (円)					調査対象畜 負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
	万	千	百	十	+		
計	4	5	3	2	00	80	
獣医師料							獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)
疾病共済掛金	★						家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医薬品費							牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等							上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤等

7 賃借料及び料金

区 分	金 額 (円)					負担割合 (%)		賃借料及び料金の例示
	万	千	百	十	+	調査対象畜	自給牧草	
計								
共同負担金								共同利用畜舎など共同施設の負担金、利用料金
農機具借料		3	6	0	00	50	30	農機具のリース代
その他	1	1	8	0	00	90		削蹄料、疾病検査料、建物の賃借料、コントラクター料金等

獣医師料及び医薬品費 (診療衛生費)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を参照します。
この事例では、診療衛生費の補助科目として「獣医師料」「医薬品費」等を設定しています。

損益計算書 繁殖牛部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
診療衛生費				353,200	
獣医師料					
医薬品費					
その他医療費					

損益計算書 全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
共済掛金					
疾病共済掛金				100,000	

★「疾病共済掛金」は損益計算書—【販売費一般管理費】⇒(共済掛金)の項目に表示されます。計を記入する場合は「診療衛生費」と「疾病共済金」の合計値を記入してください。

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を参照します。
この事例では、賃借料の補助科目として「共同負担金」「農機具借料」等を設定しています。

損益計算書 繁殖牛部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
賃借料					
共同負担金					
農機具借料				36,000	
その他				118,000	

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

調査票 P8

8 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

草地開発事業の負担金（円）				土地改良事業の負担金（円）			
草地造成事業		草地整備事業		事業番号 (①)	事業番号 ()	事業番号 ()	
万	千	百	十	万	千	百	十
8	0	0	0	2	3	0	0

9 その他の資材等

資材名等	数量	単位	金額（円）	負担割合（%）	
				調査対象畜	自給牧草
計					
購入					
防虫ネット			8000	100	
作業手袋			3000	80	20
デントコーンの種子			20000		100
消石灰			20000	60	10
ラッピングフィルム			50000		100
自給					
きゅう肥	18	t			50

草地費（賃借料）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を参照します。
この事例では、賃借料の補助科目として「草地開発事業の負担金」「土地改良事業の負担金」等を設定しています。

損益計算書		繁殖牛部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
[営業損益の部]					
【生産原価】					
賃借料					
草地開発事業の負担金 （草地造成事業）				80,000	
土地改良事業の負担金				23,000	
その他					
支払 地代					
その他					

その他の資材等（購入）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を参照します。
この事例では、諸材料費の補助科目として「防虫ネット」「作業手袋」等を設定しています。

損益計算書		繁殖牛部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
[営業損益の部]					
【生産原価】					
諸材料費				101,000	
防虫ネット				8,000	
作業手袋				3,000	
デントコーンの種子				20,000	
消石灰				20,000	
ラッピングフィルム				50,000	

その他の資材等（自給）

「農業簿記11」では対応しておりません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【4】 物件税及び公課諸負担

調査票 P9

1 物件税

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計	万 千 百 十		
固 定 資 産 税			
建 物	1 5 0 0 0 0	6 0	1 0
農 機 具	3 0 0 0 0 0	4 0	3 0
都 市 計 画 税 (土 地 以 外)			
不 動 産 取 得 税 (土 地 以 外)			
自 動 車 取 得 税	9 0 0 0	2 0	8 0
共 同 施 設 税			

2 公課諸負担

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計	万 千 百 十		
集 落 協 議 会 費	7 5 0 0	9 0	
農 業 協 同 組 合 費	5 5 0 0 0 0	9 0	
肉 用 牛 組 合 費	4 8 0 0 0 0	1 0 0	
農 事 実 行 組 合 費	1 0 0 0 0 0	9 0	
家 畜 共 済 組 合 賦 課 金	5 4 0 0 0 0	8 0	

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、物件税の補助科目として「固定資産税・建物」等を
公課所負担の補助科目を「集落協議会費」「肉用牛組合費」等を設定しています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
固定資産税・建物				150,000	
固定資産税・農機具				30,000	
都市計画税					
不動産取得税					
自動車取得税				9,000	
共同施設税					

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
【販売費一般管理費】					
租税 公課					
集落協議会費				7,500	
農業協同組合費				55,000	
肉用牛組合費				48,000	
農事実行組合費				10,000	
家畜共済組合賦課金				54,000	

【5】消費税、【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査票 P9

【5】消費税

区 分	金 額 (円)				調査対象畜 負担割合
	万	千	百	十	
消 費 税 (納付額)	3	0	0	0	90%

消費税

※ 消費税は「合計残高試算表」では、表示されません。
「**バランスシート**」を参照してください。
※ 実際、納付した消費税の額を記入してください。

【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

借 入 金 種 類	調査開始時 未償還残高 (円)	支払利子額 (円)	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
計	3000000	400000	60	10
△△資金 (畜舎用)	3000000	400000	60	10
××資金 (ローダー用)	4300000	150000	40	30
〇〇資金 (トラクター用)	2500000			100
買 掛 未 払 金	550000	42000	70	30

借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
前期の合計残高試算表の決算・**全部門**・貸借対照表と損益計算書を参照します。
なお、借入金の内訳に関しては、集計されません。資産表もしくは元帳を参照してください。

貸借対照表

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《負債の部》					
【固定負債】					
長期借入金				7,800,000	
△△資金 (畜舎用)				3,000,000	
××資金 (ローダー用)				430,000	
〇〇資金 (トラクター)				250,000	
【流動負債】					
買掛金				55,000	

借入金（支払利子）

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
今期の合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。
この事例では、利子割引料の補助科目として「△△資金 (畜舎用)」「××資金 (ローダー用)」等を設定しています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業外損益の部]					
【営業外費用】					
利子割引料				55,000	
借入金利子					
△△資金 (畜舎用)				40,000	
××資金 (ローダー用)				15,000	
〇〇資金 (トラクター)					

【7】出荷に要した経費

調査票 P9

区 分	金額、時間	出荷に要した経費の例示										
材 料 (円)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>万</td> <td>千</td> <td>百</td> <td>十</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		万	千	百	十	5	0	0	0	0	出荷に使用したガソリン代、資材（手綱、鼻木等）の購入代金 等
	万	千	百	十								
5	0	0	0	0								
料 金 (円)		出荷作業を依頼した場合の料金、共同出荷における運搬費の負担金 等										
労働時間 (時間)		子牛を販売する際の家畜市場等の販売先までの運搬に要した時間										

出荷費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
荷造運賃手数料					
材料費				50,000	
料金					
労働賃（出荷に要する）					

【8】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査票 P10

番号	名称等	種類コード	構造コード	延べ面積 (㎡) 又は 施設数 (基)	新古区分		耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 〔購入金額から補助金を控除した額を記入してください。〕	農業経営基盤強化準備金 (円) 〔建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。〕	修繕費 (円) 〔当年の当該建物等の修繕費を記入してください。〕	保険料 (円) 〔当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。〕	負担割合 (%)		年内異動状況		
					新築	中古		年 (西暦)	月					調査対象畜	自給牧草	異動コード	異動に伴う発生金額 (円) 〔売却金額、取り壊しの金額〕	
	畜舎	6	5	400	○	○	31	19	65	9	6500000			20000	100		1	5000000
	たい肥舎	9	4	500	○	○	34	19	97	5	3000000			100		2	1500000	
	作業場	4	1	200	○	○	15	20	08	7	2600000			100		3	2000000	
	サイロ	2	3	1	○	○	10	20	13	3	8000000	4000000	3000000					
	畜舎 (新築)	6	5	800	○	○		20	19	6	25000000			100				

建物等の取得年月、取得価額、売却金額（自動車、農業機械も同様）

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

コード 事業区分 資産区分	資産名称 摘要			取得価格		普通償却額 割増特別償却額 当期償却費計 償却費累計	売却価額 売却損益 期首帳簿価額 期末帳簿価額
	取得年月日 売却除去日	償却方法 事業専用	耐用年数 数量	償却率 残存1	期間 残存2		
1 農業 建物	畜舎					6,500,000	
	1965/9						
2 農業 建物	たい肥舎					300,000	
	1997/5						
3 農業 建物	作業場					2,600,000	200,000
	2008/7						
3 農業 建物	サイロ					800,000	
	2013/3						
4 農業 建物	畜舎 (新築)					25,000,000	
	2019/6						

修繕費・保険料

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」「建物解体費」を設定しています。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て繁殖牛で負担したと見なしています。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
〔営業損益の部〕					
【生産原価】					
修繕費					
建物修繕費				30,000	
建物解体費				650,000	
【販売費一般管理費】					
損害保険料				20,000	
建物保険料					

農業経営基盤強化準備金の取り崩しについて

「農業簿記11」では対応しておりません。子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

取得年月、取得価格、売却金額

本マニュアルP26と同様、「減価償却資産集計表」を参照して転記してください。

【9】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査票 P11

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>(購入金額から補助金を控除した額を記入してください。)</small>	修繕費 (円) <small>(当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。)</small>	自動車保険料 (円) <small>(当年の当該自動車等の保険料を記入してください。)</small>	自動車・軽自動車税 (円) <small>(当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。)</small>	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		負担割合 (%)		異動コード	年内異動状況 売却金額 (円) <small>(廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」)</small>	
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調査対象	自給牧草			
1	軽トラック	11	○	○	4	2014	2	560000			4000				20	80	1	50000
2	貨物ダンプ	12	○	○	2	2009	8	700000			8000	3300	23970		100	2	0	
3	貨物トラック	13	○	○	5	2016	1	1300000	124000	150000	160000	16400	28720		100			
15	軽トラック	11	○	○	3	2019	4	300000				6600	25880		20	80		

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を参照します。
建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

損益計算書 繁殖牛部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修繕費				174,000	
建物修繕費				30,000	
農具修繕費				20,000	
車修繕費				124,000	
建物解体費				650,000	

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、租税公課や損害保険料の補助科目として「自動車保険料(車両分)」「自動車税」等を設定しています。ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

損益計算書 全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税公課				140,000	
固定資産税・建物					
軽・自車税				28,000	
自動車重量税				26,300	
自賠責保険				78,570	
損害保険料					
自動車保険料(車両分)				15,000	

農業経営基盤強化準備金の取り崩しについて

「農業簿記11」では対応しておりません。子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

調査票 P12

【10】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) <small>(購入金額から補助金分を控除した額を記入してください。)</small>	農業経営基盤強化準備金 (円) <small>(農業機械の購入のために取り崩した準備金の額を記入してください。)</small>	修繕費 (円) <small>(当年の当該農業機械や生産管理機器の修繕費を記入してください。)</small>	保険料 (円) <small>(当年の当該農業機械の保険料を記入してください。)</small>	軽自動車税 (円) <small>(当年の当該農業機械の軽自動車税を記入してください。)</small>	負担割合 (%)		年内異動状況	
						年 (西暦)	月						調査対象畜	自給牧草	異動コード	売却金額 (円) <small>(廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」)</small>
1	農用トラクター	56	○	○	5	2005	3	800000			8000	2400		100	1	30000
2	集草機	366	○	○	5	2011	2	300000						100	2	0
3	自動給餌機	486	○	○	7	2016	7	600000	300000	200000				80		
14	農用トラクター	56	○	○		2019	2	1500000						100		
15	ローダー(リース)	496	○	○												

農業機械等の取得年月、取得価格、売却金額

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

コード 事業区分 資産区分	資産名称 摘要					取得価格 交付金等 差引取得 償却基礎金額	売却価額 売却損益 期首帳簿価額 期末帳簿価額
	取得年月日 売却除去日	償却方法 事業専用	耐用年数 数量	償却率 残存1	期間 残存2		
1 農業 農業機械	農用トラクター					800,000	30,000
	2005/3						
2 農業 農業機械	集草機					300,000	
	2011/2						
3 農業 機械装置	自動給餌機					600,000	
	2016/7						
4 農業 機械装置	農用トラクター					1,500,000	
	2019/2						

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

損益計算書

勘定科目	全部門		残高	構成比 (%)
	繰越	借方金額		
[営業損益の部]				
【生産原価】				
修繕費				
農具修繕費			20,000	
【販売費一般管理費】				
損害保険料				
農業機械保険料			8,000	
租税 公課				
軽・自動車税(トラクター)			2,400	

軽自動車税

租税公課の補助科目として設定した、軽・自動車税を参照します。ただし、合算されている場合は、元帳に遡って詳細を確認します。

【11】 農具の購入費等

調査票 P13

・ 農具・農業被服等の購入費

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示
		調査対象畜	自給牧草	
(計)	30,500	9.0	1.0	
農具・農業被服等の購入費				【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

・ 生産管理関係の費用

名称等	金額（円）	負担割合（%）		内容例示
		調査対象畜	自給牧草	
(計)	30,000	2.0	3.0	
生産管理関係の費用				【購入費】 ・コピー用紙、プリンタートナー等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費 【技術習得に係る費用】 ・研修、集会等への参加料（受講料）、交通費 ・営農、技術習得等に関する専門書の購入費 【電話代・通信費】 ・スマートフォンの通信料
コピー用紙、インク	3,000	2.0		
筆記用具	1,000	5.0	3.0	
携帯電話代	2,400	1.0		
研修の参加料	3,000	8.0	2.0	

農具・農業被服等の購入費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「農具費」と「作業用衣料費」の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
[営業損益の部]					
【生産原価】					
農具費				23,500	
作業用衣料費				7,000	

生産管理関係の費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

農業簿記では、「研修費」、「事務消耗品費」及び「通信費」等の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
旅費交通費					
研修費				3,000	
接待交際費					
事務消耗品費				4,000	
通信費				24,000	
新聞図書費					

【12】 作業別労働時間

調査票 P14

1 調査対象畜に関する定型作業

氏名	性別	年齢	家族・雇用	飼料の調理・給与・給水		敷料搬入・きゅう肥搬出		その他の飼育作業	
				時間:分	日	時間:分	日	時間:分	日
農林 太郎	男	56	家族雇用	2	0			1	0
				100				100	
花子	女	54	家族雇用	30				2	0
				100				100	
一郎	男	28	家族雇用	2	30	3	0	2	30
				250		100		150	
雇用者 (常雇い)	男		家族雇用	2	30	3	0	2	30
				250		100		150	
雇用者 (ヘルパー2名)	男		家族雇用	2	0			4	0
				15				15	
雇用者 (ゆい)	男		家族雇用	2	0	1	0	1	0
				5		5		5	

労働時間

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量を入力する事は可能ですが、計算はされません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

2 調査対象畜に関する1以外の作業

氏名	性別	年齢	家族・雇用	作業名				
				(牧草生産)	(集会出席)	(建物修繕)	(簿記記帳)	(資材購入)
農林 太郎	男		家族雇用	120	10	15		
花子	女		家族雇用				30	
二郎	男	25	家族雇用	120	5	8		10
雇用者 (年雇)	男		家族雇用	150				50

支払賃金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、雇人費の補助科目として、「男雇用」、「女雇用」を設定しています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
雇人費				2,800,000	
男雇用				2,500,000	
女雇用				300,000	

3 支払賃金

区分	金額 (円)					負担割合 (%)	
						調査対象畜	自給牧草
男	2	5	0	0	0	9	1
女	3	0	0	0	0	1	0

【13】地代（所有地及び借入地）

調査票 P14

1 所有地

ほ場名	ほ場の例示	実面積	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地	畜舎、納屋、飼料倉庫などの建物及び構築物の敷地	4.0	25	30
運動場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を網でつないで飼うこと。）に利用した土地	8.0	60	80
牧草栽培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地	23.0 26.0		100
放牧地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地	10.0	100	
採草地	耕地以外で過去1年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

数量の入力（実面積等）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
子牛生産費統計調査票「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

2 借入地

ほ場名	実面積	支払地代 (円)	負担割合 (%)	
			調査対象畜	自給牧草
建物敷地				
運動場				
牧草栽培	21.0 17.0	1300000		100
放牧地	5.0	100000	100	
採草地				

支払地代

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・繁殖牛部門・損益計算書を参照します。
この事例では、支払地代の補助科目として、「牧草栽培」「放牧地」等を設定しています。

損益計算書

繁殖牛部門

科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
[経常損益の部]					
【生産原価】					
支払地代				140,000	
建物敷地					
運動場					
牧草栽培				130,000	
放牧地				10,000	
採草地					